

第 1 回豊明市子ども・子育て支援事業計画策定委員会

○開催日時 平成 26 年 6 月 23 日（月）午後 1 時 30 分

○開催場所 豊明市役所 東館 1 階 会議室 6

○出席者 委員 11 名
豊田委員、上村委員、樋口委員、伊藤委員、小川委員、近藤委員、
石田委員、山崎委員、石原委員、伊藤委員、時高委員
(敬称略)

○傍聴人数 1 名

○次第 (1) 子ども・子育てに関するアンケート調査結果報告
(2) 子育て支援施策について
(3) 子ども・子育て支援新制度について
(4) 今後のスケジュールについて

【事務局】 本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から平成 26 年度第 1 回豊明市子ども・子育て支援事業計画策定委員会を行います。本日の委員の出席状況についてご報告します。本日は、委員 13 名のうち、11 名の出席をいただいております、2 名の欠席をうかがっております。過半数の出席がございますので、委員会は成立いたします。傍聴を希望するの方が 1 人お見えですので、当会の傍聴を許可することとさせていただきます。よろしいでしょうか。(異議なし)(資料確認)

それでは、はじめに健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。(7:11)

【健康福祉部長】 みなさん、こんにちは。健康福祉部長の原田でございます。日頃は保育行政に格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、本日は大変お忙しい中とは存じますが、定刻にお集まりいただきましたこと重ねて御礼申し上げます。

先般実施したアンケートの結果からは、子育てニーズというのが、待機児童の問題をはじめ様々な課題があるということをアンケート結果から見て取ることができます。これは、従来私たちが考えていたニーズと異なる部分もあるようです。そういった中で、今後の計画を策定していく中で、皆さまにご指導いただければと考えております。

27 年度からの計画ということもありますので、策定委員会で十分に慎重な審議をいただきながら事業を進めていければと考えております。(9:24)

第1回豊明市子ども・子育て支援事業計画策定委員会

【事務局】 続きまして、委員の交代がありましたので、ご紹介いたします。

豊明市民生児童委員協議会児童福祉部会長、上村元郎さまです。

西部児童館母親クラブ、山崎真代さまです。

ここからは、委員長に進行をお願いします。

【委員長】 皆さま、こんにちは。暑い中ご参集いただき、ありがとうございます。新聞等でいろいろご存知と思いますが、平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」が始まります。国はガイドラインとして、子どもたちが幸せになるように、家庭が安心して子育てできるようにいくつかの事業を示しています。その中で豊明市の事情や住民のニーズを踏まえて事業を策定し、実施していくことに関わるのが、この委員会の役割だと考えています。

この委員会は、いろいろな分野の方が代表となっていますので、広く意見を出していただきながら、計画策定を進めていきたいと思っています。(12:40)

それでは、議題に入りたいと思います。

1の子ども・子育てに関するアンケート調査結果報告について、事務局より説明をお願いします。(13:00)

【事務局】(事務局説明)(40:05)

【委員長】 ご不明な点、ご質問ございましたらどうぞ。(40:27)

【委員】 アンケートの対象は、どのように選んでいるのですか。(40:40)

【事務局】 対象は、年齢要件のみです。その他の条件はなく、ランダムに選んでいます。(40:50)

【委員長】 その他には、ございませんか。(40:56)

【委員】 保育園を利用していない保護者が、子どもの看病があるが仕事も休めないといった場合、市ではどのような対応をしていますか。(41:12)

【委員長】 どうでしょうか。(41:13)

第1回豊明市子ども・子育て支援事業計画策定委員会

【事務局】 病児・病後児保育という事業を紹介しています。こちらは、ファミリー・サポート・センターの事業の1つとして実施しており、NPO法人さわやか愛知に委託して、実施しています。

【委員】 サポートということは、ボランティアということですか？

【事務局】 いえ、有料の事業です。

【委員】 以前に、ファミリー・サポート・センターでボランティアの受付をして、実施した事業とは違いますか。

【事務局】 そうです。(44 : 03)

【委員】 ファミリー・サポート・センターの事業で、豊明市が窓口になっている事業があると思います。病児病後児保育事業は、さわやか愛知が窓口になっているのですか。

【事務局】 病児病後児保育事業の窓口は、豊明市です。しかし、実際にサービスを提供する会員は、病児病後児のお子さんを見るということで、必要な教育を受けられた方をさわやか愛知から派遣してもらうような仕組みです。

【委員】 ありがとうございます。(44 : 44)

【委員長】 よろしいですか。では、引続きご意見、ご質問等がありましたらどうぞお願いいたします。(44 : 54)

【委員】 アンケート結果は、お子さんの状況は就学前と就学後がまとまっているようです。しかし、就学前と就学後では子育てする環境など、状況が少し変わると思います。そのあたり、どのような差があったかなど分かると、計画を立てる上で参考になると思います。

【事務局】 まだ、そこまでの詳しい分析はしておりません。ただ、アンケート結果を見ていまして感じたことは、保育園入園前のお子さんがあるような場合だと、親子で遊びに行く公園のことや経済的支援のこと、保育園や幼稚園に通っているお子さんがいるような場合だと、保育料や授業料の支援や、預かり時間の延長について、小学校に通っているお

第1回豊明市子ども・子育て支援事業計画策定委員会

子さんがいるような場合だと、児童クラブの対象年齢拡大や防犯事情についてといったことが挙げられていました。

【委員長】 よろしいでしょうか。そのほかにいかがでしょうか。(48 : 36)

【委員】 お話を伺っていると、いざ対応しようとした場合、お金が発生することが多いですね。人の募集などもありますので、簡単ではないなという印象を受けました。

【委員長】 ご意見、ありがとうございました。

その他に、ご意見・ご質問などがありますか。(49 : 50)

【委員長】 それでは、私から質問します。アンケート結果の「土曜日、日曜日の保育・教育事業の利用状況」について記されています。現在、土曜日に保育や教育事業を実施している割合はどのくらいですか。

【事務局】 保育所については、全園で土曜日保育を実施しています。また、お子さんをお預かりする時間は、午後5時までです。幼稚園については、確認できておりません。

【委員長】 それでは、この結果は、保護者が将来に要望する内容ではなく、現在実施されている内容を前提にした内容として読み取ればいいですね。

他の方は、いかがでしょうか。

【委員長】 多くの項目があり、目を通す量が多いですが、ぜひご意見、ご要望や感想などがございましたらぜひお願いしたいと思います。

【委員】 いいですか。(51 : 53)

【委員長】 はい。(51 : 53)

【委員】 私が、いろいろな世代の保護者と話す機会がある中で感じたことは、事務局がアンケート結果から感じた内容と同じでした。児童クラブや保育園の状況を見て、特にそう思います。

それから、お子さんを0歳から預けたいという声をよく聞きます。私が知っている企業

第1回豊明市子ども・子育て支援事業計画策定委員会

の状況を考えても、保護者が早く会社に戻れるように仕組みを整えるということも、必要なことなのかなという感じがします。

【委員長】 はい。ありがとうございました。そのほかいかがですか。(55:41)

【委員】 「子育て支援事業の認知度・利用状況」についてです。認可外保育施設のリフレッシュ保育の利用や認知度が低いという結果が出ています。市のホームページでは、公立で実施しているリフレッシュ保育とかをPRしていると思いますので、認可外の施設についても同じように市からの補助があることも含めてPRして下さるといいのかなと思います。

【委員長】 今の委員の意見にもあるように、情報が分かりやすかったり、認知度が高いものについては、よく利用されているのだと思います。今後、市からの情報提供については、この点に気をつけながら進めていって下さるといいかなと思います。

【委員】 土曜日の保育利用についてです。利用する必要があるとしている割合が、65.9%ありますが、実際はどうでしょうか。保育園の様子を見ていますと、実際と相違があるように感じます。

【事務局】 乖離があると思います。理由のひとつには、アンケートの際に「(場合によっては) 利用料が必要」ということを条件にしているために、利用希望が減ったことが考えられます。

【委員】 確かに、以前は有料でしたね。数年前から無料になり、それ以後保育園に預けるお子さんが多くなってきたように思います。今後は、どのように進んでいくか考えていらっしゃるでしょうか。

【事務局】 現在の方針は、今の施策を継続していくことを考えています。一方で、サービスを実施するうえで、有料か無料かといった内容などについては、いろいろなご意見をいただきながら、常に検討していくべき内容と考えます。

【委員長】 ありがとうございました。国は、家庭が子育てを安心してできる環境を作りたいと言いつつ、一方で原則的には家庭で子どもをしっかり見ましょとも言っています。その中で、本当に支援が必要な家庭については十分な支援が必要となるでしょう。また、お子さんと親が一緒にいる時間をどのようにつくるかなど、いろいろなことを考えなければいけないなと思いつつ、聞いていました。

第1回豊明市子ども・子育て支援事業計画策定委員会

それでは、他の方はいかがでしょうか。いろいろご意見はあるかと思いますが、今回はアンケート結果の報告ということで、事務局より概要の説明を受けました。その他、ご意見やお気づきの点がございましたら、事務局に問い合わせるということで、今回は一旦打ち切りたいと思います。よろしいですか。

【委員】 アンケート結果の考察には、子どもの数や保育園・幼稚園の利用の数が減っていく傾向にあります。他市の状況に比べて、どのような状況ですか。

【事務局】 はい。豊明市の子どもの数は、微減していくという推計が出ています。

【委員】 豊明市の子ども数は、微減していくのですね。この会議に参加することや、新しい制度を設計するにあたっては、少子化を解消するとか、住みやすいまちを目指していきたいなと思います。

【委員長】 はい、ありがとうございます。豊明市は人口7万弱の小回りの利く、きめ細やかな政務ができる規模の自治体だと思います。若い世代が、次の世代を産み育ててくなるような見通しを持った計画を、これから皆さんと一緒に策定していければと思います。ご意見ありがとうございます。

そうしましたら、報告に関する質問等は、ここで一旦打ち切ります。では、次の議題子育て支援施策について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】（事務局より説明）

【委員長】 ありがとうございます。続いて、子ども・子育て支援新制度についての説明をお願いします。（1：19：47）

【事務局】（事務局より説明）

【委員長】 ありがとうございます。この制度は、現在確定できていない部分が多くありますので、今回は説明のみということです。では、今後のスケジュールについて、事務局からお願いします。

【事務局】（事務局より説明）

【委員長】 事務局からの説明では、一つ目に「策定委員会」から「子ども・子育て会議」

第1回豊明市子ども・子育て支援事業計画策定委員会

に改めるということ。二つ目に「子ども・子育て会議」の委員には、新たに医師会から選出した委員を加えて、審議を進めていきたいということ。以上2点の説明がありました。

それでは、2つ目の点について委員の皆さまにお尋ねします、ご賛同いただけますでしょうか。(全員挙手)では、全員一致で賛成ということですね。ありがとうございます。

【事務局】 ありがとうございます。ご承知いただきましたので、9月以降は子ども・子育て会議として開催していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(2:01:17)

【委員長】 本日は、お忙しい中ありがとうございました。新制度・新たな策定事業の始まりということで、盛りだくさんの内容でした。これからの新しい豊明の子育て支援事業を委員の皆さんのお力を得ながら検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】 それでは、次回は8月8日の午前9時30分から始めたいと思います。お忙しいとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。本日の会議はこれで終了いたします。ありがとうございました。